

第 21 回 全国大会のお知らせ

【主催校挨拶】

第 13 大会を北海道教養部（岩見沢）で開催して以来、駒澤大学での全国大会の開催は 2 回目となります。東京本校（駒沢・深沢キャンパス）では初めての開催です。

今大会の統一論題テーマは、「トヨタ・システムの国際比較—グローバル化—下の諸相—」です。数回続けて「グローバル化—」をテーマに統一論題に開催したいとの野村重信会長の要望を大会主催校として具体化しました。本年度は、トヨタ自動車と GM との生産台数・販売台数において凌駕する自動車産業の歴史的転換の年になると予想され、トヨタ・システムの競争優位性に改めて大きな関心が集まっています。グローバル化—の下、世界各地で展開されるトヨタ・システムには普遍性と同時に、各国の歴史的・社会的・経済的諸条件に規定された特殊性も存在します。歴史的転換期にあるこの機会にトヨタ・システムの国際比較を通して各国で展開されるその実情を確認し、普遍性と特殊性の具体的存在態様やその含意を理論的に検討する意義は決して小さくないでしょう。付言すれば、トヨタ・システムの普遍性・特殊性はトヨタ・システムの諸要素を導入・展開する世界の自動車会社との比較を通して検討することも可能であり必要でもあるでしょう。

統一論題および自由論題における活発な議論を通して、学会活動がさらに活性化されることを期待し、大会準備委員会一同、多くの会員が駒澤大学に参集されることを祈念しています。

第 21 回全国大会準備委員会委員長 鈴木幸毅（駒澤大学）

- ・ 大会日程 2006 年 9 月 11 日（月）～9 月 13 日（水）
 - 9 月 11 日（月） 工場見学、理事会など
 - 9 月 12 日（火） 自由論題報告、会員総会、懇親会、理事会
 - 9 月 13 日（水） 統一論題報告・シンポジウム、研究分科会、理事会
- ・ 大会会場 駒澤大学本校キャンパス（〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1）
- ・ 統一論題 トヨタ・システムの国際比較—グローバル化—下の諸相—

第 21 回全国大会の報告者募集

- ・ 統一論題と自由論題の報告者を募集します。

- ・ 報告応募の締め切りは**5月31日(水)**です。応募者多数の場合には大会準備委員会で選考させていただきます。ご了承下さい。
- ・ 応募先 〒154-0805 東京都世田谷区駒沢 1-23-1
駒澤大学経済学部 百田研究室
第21回大会準備委員会事務局宛
- ・ 応募内容
 - ① 報告タイトル
 - ② 報告者氏名・所属（共同報告の場合は、報告者すべての氏名・所属）
 - ③ 報告要旨（400字程度、キーワード5つ、書式自由）
- ・ 大会予稿集原稿の締め切り 7月29日（土）必着
送付先：上記の報告応募先に同じ。
原稿の書式等は、報告依頼書類とともに6月上旬にお知らせいたします。予稿集は送付原稿を直接印刷しますので、書式を厳守してください。
- ・ 第21回大会に関する問い合わせ先 hyakuta@komazawa-u.ac.jp

新入会員・退会会員の紹介

* 新入会員（正会員 7名）

氏名	登録区分	所属名
榎井 猛	正会員	甲子園大学 現代経営学部 教授
那須 靖弘	正会員	甲子園大学 現代経営学部 助教授
梶木 克則	正会員	甲子園大学 現代経営学部 助教授
今野 喜文	正会員	北星学園大学 経済学部 助教授
森永 泰史	正会員	北海学園大学 経営学部 講師
坂井 俊文	正会員	北海道工業大学 総合教育研究部 講師
横尾 陽道	正会員	北星学園大学 経済学部 講師

* 退会会員の紹介

藤谷一二（市光工業）

学会ホームページ担当からのご連絡

1. 日本学術会議からのHPリンクの要請に関して

標記の要請に対して、2005年1月より、日本学術会議との相互リンクを開始しました。学術会議HPでは「関連機関・団体リンク集」の中の「第19期国内関係学会一覧」に、そして工業経営研究学会ではTOPページの中央上部に、リンクが張っております。

2. 地方部会、研究分科会の情報開示に関して

個別にHPを作成していただき、学会ホームページとリンクするのが合理的だと考えます。従いまして、できれば、一つでも多くの部会、研究分科会で個々の計画予定を乗せたHPを作成運営していただき、学会HPとリンクさせていただくように、それぞれの事務局にお願いする次第です。でき次第、ご連絡くだされば、リンクいたします。もちろん、これまで同様、データさえいただければ、こちらで掲載いたします。

東日本部会 活動報告

1. 研究会開催報告

◆2006年度 第1回東日本部会

日時：2006年1月14日（土曜日）13:30～

場所：高千穂大学

- ・第1報告：「起業3事例の軌跡—経営体験から—」
報告者：(株)ワイ・アール・シー 椎名 宏 氏
- ・第2報告：「社会科学研究方法の一考察」
報告者：高千穂大学 平松茂実 氏

◆2006年度 第2回東日本部会（グローバリゼーション研究分科会との共催）

日時：2006年3月11日（土曜日）13:30～

場所：早稲田大学

<グローバリゼーション研究分科会中国研修報告>

- ・第1報告：「中国珠江デルタにおける企業の動向と新たな発展の可能性」
報告者：作新学院大学 那須野公人 氏
- ・第2報告：「グローバル環境下の中小企業の形態変化—中国中小企業の場合」
報告者：愛知工業大学 野村重信 氏
- ・第3報告：「日本企業の“モノづくり復活”は何を意味するか」
報告者：関西大学 野口 宏 氏
- ・第4報告：「現代中国企業の組織特性とその事業適合性」
報告者：高千穂大学 平松茂実 氏

2. 会員総会開催報告

◆東日本部会会員総会

日時：2006年1月14日（土曜日）

場所：高千穂大学

＊2006年度 第1回東日本部会終了後に開催
議題

- ・2006年度の活動予定
- ・部会事務局の交代
- ・その他

3. ご案内

＊ 東日本部会では、報告者を募集しております。報告希望会員は、東日本部会事務局までご連絡下さい。

＊ 2006年1月より、事務局が下記のとおり変更となりました。

〔東日本部会事務局〕

〒323-8585 栃木県小山市大行寺 1117

白鷗大学 経営学部 飛田研究室内

TEL：0285-22-9736（FAX兼用） e-mail：tobita@hakuoh.ac.jp

西日本部会 活動報告

1. 研究会開催報告

◆2005年度 第3回研究会

日時 2005年12月3日（土）14時～16時半 参加者13名

（関西大学先端科学技術推進機構 会議室）

報告1 松山 清喜氏（大阪市立大学大学院）

「ビジネスとソーシャルの揺らぎの中でー「レポインターナショナル」の事例を中心にー」

報告2 鹿島 啓 氏（大阪成蹊大学）

「アスベスト公害にみる企業の社会的責任について」

2. 見学会開催報告

◆2005年度 第2回見学会

日時 2006年1月27日（金） 参加者21名

見学先 株式会社森精機製作所 伊賀事業所

目的 「オートキャンプ場方式のセル生産について」

3. ワーキングペーパー

査読後再提出準備中2件

〔西日本部会事務局〕

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/asimj/> (学会の H.P)

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

関西大学工学部システムマネジメント工学科内

工業経営研究学会西日本部会事務局 泉井力

TEL : (06)6368-0795, FAX : (06)6330-3154, e-mail:tizui@iecs.kansai-u.ac.jp

北海道部会 活動報告

2004 (平成 16) 年 11 月、工業経営研究学会第 19 回全国大会 (9 月) の実行委員会の会
員を母体に工業経営研究学会の地方部会として北海道部会が設立されました。

(参考)

* 工業経営研究学会第 19 回全国大会実行委員会 (2004 年 9 月 10 日～9 月 12 日)

実行委員長 大平 義隆 (北海学園大学)

実行委員 山本 孝 (道都大学) 中山 健一郎 (札幌大学) 田中史人 (北海学園大学)

石嶋 芳臣 (北海学園大学) 天笠 道裕 (北海学園大学) 岡田 行正 (北海学園大学)

赤石 篤紀 (北海学園大学)

第 1 回北海道部会 (2004 年 11 月 30 日 於 : 北海学園大学 17:00～18:00)

大平義隆会員の議事進行のもと、北海学園大学にて第 1 回北海道部会 (設立部会) が
開催されました。部会長として山本孝会員が選出され、山本会長のご挨拶の後、運営委
員会では研究発表の場であることに加えて、将来的には法人会員も迎え、なごやかな部
会運営を目指そうとの決議がなされました。また部会役員が選出されるとともに、部会
運営は 10 人全員で当たることなどが確認されました。

《運営委員会》

1. 部会活動

- 研究活動をなごやかに行える雰囲気づくりに努めたい (温泉併設施設などの
利用)

* 学会内規 第 9 条 (地方部会)

①研究会の開催

- とくに若手の研究発表の場としたい (ワーキングペーパー発行)
- 年数回を予定したい

* Working Paper 規定

②産業界との接点

- 地域の企業に部会参加を募る

- 見学会を行う

2. 部会役員の選出

[部会役員]

部 会 長：山本 孝（道都大学）

副 部 会 長：大平 義隆（北海学園大学）

研究会担当主査：石嶋 芳臣（北海学園大学）

見学会担当主査：田中 史人（北海学園大学）

企 画 担 当 主 査：中山健一郎（札幌大学）

監 事：岡田 行正（北海学園大学）

事 務 局：田中 求（道都大学）

* 設立懇親会にて、ご提案がなされ、新たに企画担当主査として中山健一郎会員が推薦されました。

[運営委員]

山本 孝（道都大学） 大平義隆（北海学園大学） 中山健一郎（札幌大学） 田中央人（北海学園大学） 石嶋芳臣（北海学園大学） 天笠道裕（北海学園大学） 岡田行正（北海学園大学） 赤石篤紀（北海学園大学） 田中 求（道都大学）

第 2 回北海道部会（2005 年 4 月 16 日 於：北海学園大学 15:00～17:30）石嶋芳臣（研究会担当）

第 1 回研究会が開催され、副部会長である大平義隆会員自ら「日本的経営の文化、又は連続性のメカニズムに関する組織論的分析」と題して研究報告を行いました。活発な質疑応答の後、続く運営委員会において「工業経営研究学会北海道部会産学交流分科会」が発足し、中山健一郎会員（当日欠席につき山本・大平代読）のご提案により QC サークル北海道支部の賛助会社（会員）となることを機関決定いたしました。

《第 1 回研究会》

報告：大平義隆（北海学園大学）

「日本的経営の文化、又は連続性のメカニズムに関する組織論的分析」

《運営委員会》

「工業経営研究学会北海道部会産学交流分科会」（担当：中山健一郎 札幌大学）発足

第 3 回北海道部会（2005 年 11 月 28 日 於：苫小牧市 10:30～18:00）田中央人（見学会担当）・中山健一郎（企画／産学交流分科会担当）

最初の工場見学会が開催されました。苫小牧市経済部のご厚意により、終日随行していただきまして充実したものになりました。当日はトヨタ自動車北海道株式会社 常勤監査役 竹花奎一氏、王子製紙株式会社苫小牧工場 研究技術部副部長 押野博氏、同業務部

塩田好晴氏、苫小牧市経済部企業誘致振興室 係長 西浦真一氏、同主事 力山義男氏に大変お世話になりました。記して厚く御礼申し上げます。

《工場見学会（苫小牧市）》

トヨタ自動車北海道株式会社
王子製紙株式会社苫小牧工場
苫小牧東部地域（苫東）視察
（見学順）

循環型社会研究分科会 活動報告

主査 浅野 宗克
事務局 金子 豪

◆第13回

1. 日時：2005年2月20日（日）13:00～17:00
2. 場所：大阪産業創造館 5F B 研修室
3. 報告：「新しい企業経営とCSR 市場の進化の視点から」
安藤 三郎 氏 （四国大学経営情報学部・大学院経営情報学研究科教授）
「気候変動の影響と対策について」
石坂 誠一 氏 （ナレッジファーム）

◆第14回

1. 日時：2005年7月3日（日）13:00～17:00
2. 場所：大阪市立労働会館（アピオ大阪）3F 306 会議室
3. 報告：「資源廃棄物の国際間移動と環境問題
～中国台州市リサイクル工場のフィールド調査より」
小泉 國茂 氏 （立命館大学大学院 博士後期課程 D3）
「集団給食施設に於けるリスク管理の実際」
樽井 雅彦 氏 （滋賀大学大学院 博士後期課程 D2）

◆第15回

1. 日時：2005年11月6日（日）13.30～17.00
2. 場所：大阪産業創造館 6F 会議室 B
3. 報告：「メコン河の持続可能な開発」
熱田 親憲 氏 （関西国際大学地域研究所）
「地域特産品の開発と農業再生」
金子 豪 氏 （四国大学附属経営情報研究所）

◆第16回予定

1. 開催日時：平成18年9月

グローバルゼーション研究分科会 活動報告等

1. 活動報告

(1) 2005年度 海外研修（中国研修）

8月22日（月）～28日（日）まで 中国珠江デルタ地域の企業等を訪問

(2) 中国研修ワーキング・ペーパー報告会（東日本部会との共催）

日時：平成18年3月11日（土曜日）13:30～17:00

場所：早稲田大学

（詳細については、東日本部会の項を参照のこと）

2. 活動計画

2006年度 海外研修

目的地：タイ（バンコクとチェンマイ周辺の企業訪問を計画しています）

時期：8月23日（水）～29日（火）を予定

訪問先：旭硝子、味の素、自動車関連メーカー、地元のクラフト産業等

【連絡先】

主査：野村 重信（愛知工業大学）e-mail：nomurashigenobu@aitech.ac.jp

副査：那須野公人（作新学院大学）e-mail：nasunok@a1.mbn.or.jp

工業経営研究学会

学会通信 56号（06-3） 2006.3.28

発行人 野村 重信

編集担当 関根雅則 那須野公人

学会事務局 高崎経済大学 経済学部 関根雅則

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300

TEL：027-343-5417（代表）

E-mail：noddie@os.rim.or.jp（自宅） sekine@tcue.ac.jp（大学）

ホームページ<http://wwwsoc.nii.ac.jp/asimj/index.html>